

APrIGFマルチステークホルダー運営グループ (MSG)会合報告

開催形態:オンライン
2025年9月3日(水)04:00- 05:00 UTC開催

事務局からの更新

- 話者控室: すべての話者向けにGreen Roomが利用できることが確認された。
- ボランティア募集: 苦情処理委員会と草案作成委員会のボランティアを募集。
- 参加者アンケート: 事務局はMSGメンバーに対し、APrIGF 2025イベントへの参加方法(オンラインまたは対面)を確認する短いアンケートへの回答を依頼した。
- ソーシャルメディア: イベント登録促進のため、MSGメンバーは事務局が提供したデザインを使ってSNSでの宣伝を支援することが奨励された。
- ローカルハブ: ローカルハブの申請期限は2025年9月7日23:59 UTC。

開催地(ネパール)からの更新

- 宿泊: フェロー用の宿泊施設はVipantaに確保された。
- ガーラディナー: 全ての参加者向けに10月11日のDay Zeroにガラナイトを開催されることが決定。
- 登録状況: 9月3日現在、登録者総数は521名で、うち461名が対面参加(地元ネパールからの参加者を含む)。
- VIP用の部屋: 確認中
- ホテルコード: 割引コードに関する最新情報について確認中。

各委員会からの更新

- イベント委員会(EC):
 - Day Zeroのプログラム: 最近、PC、FC、yIGFコーディネーターと合同会議を開催し、主にDay Zeroのプログラムとロジスティクスについて協議しました。
 - YIGFセッション(グローバルIGFユーストラック): ユースIGF(YIGF)がDay Zeroの最後に、年齢認証と情報・偽情報の文脈における年齢確認とソーシャルメディア規制に関するダイナミックなセッションをDay 0プログラムの一環として企画。
- プログラム委員会(PC):
 - 議題: 議題はほぼ確定し、セッション主催者にはブリーフィング文書が配布され、プログラム議題案が公開された。
 - 基調講演: オープニング・プレナリーでの基調講演は、ISOCのCEOであるサリー・ウェン

- トワース氏が務めることが確認された。
- PCIは開会・閉会全体会議のパネリスト選定を継続中。
 - PCIはMSGメンバーに対し、クロージングプレナリー(閉会全体会議)「デジタル格差の解消:アジア太平洋地域における包括的かつ持続可能な接続性戦略」への太平洋地域出身講演者候補の提案を求めている。
 - フェローシップ委員会(FC):
 - メンターシッププログラム:順調に進捗しており、FCメンバーはDay 0向けアイスブレイクイベントの企画をブレインストーミング中。
 - メンターはISOCのIGコースにも登録し、知識を更新してフェローをより良く支援している。
 - 議長は、事務局と現地ホストが連携し、フェローシッププログラムで提供される内容や雑費の管理方法についてフェローへ詳細情報を提供していることも共有。
 - APrIGF WSIS+20 WG:
 - 次回ウェビナー#2は2025年9月17日(水)UTC5時に開催予定。
 - ウェビナーではゼロドラフトで提起された主要課題について議論する。
 - シエリルはゼロドラフトをより広範なコミュニティからの意見募集に公開するよう提案し、アムリタはAPrIGFコミュニティからの意見提出を提案した。
 - 選挙管理委員会
 - MSGメンバーによるチェア・副チェア選挙の投票期間は9月4日0時UTCから9月11日23時59分UTCまで。

その他の議題

- 会場のバーチャルツアー:ホストは会場のバーチャルツアーを手配する意向だが、高官向けのトレーニングが開催されているため、現在は時間が取れない状況。
- ウェブサイトの更新:登録者への招待状送付や、ホテル情報やプログラムの更新など、ウェブサイトの更新が急務であることが強調された。
- 2026年の開催地:バンダラデシュからAPrIGF 2026の開催意向表明を事務局が受領したが、追加情報の提供を要請中。同国からのMSGメンバーは、事務局が受領した開催意向表明は組織／省庁からの提案でなく個人のイニシアティブであることを明言。事務局は詳細確認のため議長団との会合を調整後、MSGへ情報を共有する予定。
- MSGメンバーは、今後も開催希望者を募り、デューデリジェンスに協力するよう求められた。

次回開催予定:2025年9月17日